

水の大切さ

今の時代、水道をひねればきれいな飲み水が出てきます。でもそれは、日本だけの話で外国では毎日、給水所へ何十時間もかけて、水を手入れしなければならぬ国もあります。そういう国では水を運ぶ役目は、だいたいが子供の仕事で、その子供たちは給水所が遠いため、学校の授業に間に合わず、学校に通えない子供達がたくさんいます。日本では、このようなことは考えられません。砂漠などでは、川などの水を探しますが、そう簡単には見つからず、やっと見つけたと思っても、にごっていて、とてもきれいな水とはいえない水です。

私は、このことを学校で見たある動画で知りました。その動画を見て、私は恵まれた国に生まれて、何不自由なく生きていることがすごく特別だということを感じ、水を大切に

奈良県立青翔中学校 三年

高見 明日香

しよう、無駄遣いをするのはやめよう、と改めて思い、考えさせてくれました。

しかし、そんな水に恵まれた日本でも、自然災害に勝つことは出来ません。地震が起きたり、停電になったり、火事になると、当然水道も止まり、使用が不可能になってしまいます。毎日当たり前に使っている水なので、突然使えなくなると、非常に不便です。日本でも、外国同様、給水所へ毎日通わなければいけなくなってしまうということです。

水は、住んでいる県で大きく違うのが味です。田舎に住んでいた人が、東京へ上京してくると、水がまずくてくさい。や、水がまずくて料理にも使えない。や、ミネラルウォーターを毎回買って、それを使って生活している。という人も、たくさんいるのだそうです。実際私も水にはうるさく言う方で、自分で気

に入った水しか飲みません。でも、水不足で苦しんでいる国の人々や災害で水の入手が困難になってしまった人々などを見ていて、いざ私とその立場になったら……。と思うと、水は人間が生活する上で、本当になくてはならない存在なのだ。と改めて気付かされました。私は今まで、お風呂に入るときは、顔を洗うのも、頭を洗うのも、体を洗うのも、全部シャワーを止めずに洗って、一回に二〇〇リットルぐらい使っていました。でも、父と母に注意されたこともあり、今では、少しでも使わないときは、すぐに止めて、節水に積極的に取り組んでいます。

また、私の家にも、いつ、どこで、どんな時に、水道が止まって水が出なくなっても大丈夫なように、ある程度の水は備蓄しています。私は、奈良県に住んでいて、自然災害の少ない恵まれた地域ですが、これから南海トラフの大地震が起きるといわれているため、私の家でも、話をして、やれることはやっています。

私は大きな自然災害にまだ生まれてから出会ったことはないのですが、辛い思いをしたこと

がなく、あまり実感はありません。しかし、東北のみなさんや熊本のみなさんが辛い生活を毎日送っていたことは、テレビのニュースなどを見て知っています。でも実際に現場にいなかったもので、所詮私からしたら他人事になっただけです。けれども、おこづかいから少しでも募金をしています。

また、いつか機会があれば被災地を訪れて実際の目で見て、自分に出ることを考えていきたいと思っています。

日本は、水に恵まれている国です。じゃ口をひねれば、飲むお湯やお水も出てくるといふ幸せを再度考え、これからは今まで以上に水を大切にしていこうと思えました。水は人間にとって大切な資源なのですから。